

平成29年度における動物実験の報告・点検結果についての検証

平成30年11月30日

検証実施者：日本獣医生命科学大学 獣医学部水族医学研究室  
教授 和田 新平

中央水産研究所

| 承認実験番号 | 検証結果・アドバイス等   | 備考 |
|--------|---|----|
| 29-1   | 供試動物数の妥当性について記載してはいかがでしょうか。また、安楽死法としてエーテルの使用は推奨されなくなっております。 |    |
| 29-2   | 苦痛の軽減及び安楽死法としてエーテルの使用は推奨されなくなっております。                        |    |
| 29-4   | 安楽死に使用した「麻酔」について詳述することをお勧めします。                              |    |

瀬戸内海区水産研究所

| 承認実験番号 | 検証結果・アドバイス等   | 備考 |
|--------|---|----|
| 2017-1 | 腹腔内・静脈内投与は用手保定で実施されたと思いますが、その点も記載してはいかがでしょうか。エーテルは安楽死に使用することが推奨されなくなっております。 |    |

西海区水産研究所

| 承認実験番号   | 検証結果・アドバイス等   | 備考 |
|----------|---|----|
| 2017-001 | 以下の点について記載をお勧めします。1) 採血時の保定方法。2) 腹甲穿孔を無麻酔で実施した理由。3) 実験終了時の創傷部の処置（抗生剤の使用の要否等）。 |    |
| 2017-002 | 適正に対応されていると判断致しました。   |    |
| H29-003  | 適正に対応されていると判断致しました。   |    |

増養殖研究所

| 承認実験番号 | 検証結果・アドバイス等         | 備考 |
|--------|---------------------|----|
| 29001  | 適正に対応されていると判断致しました。 |    |
| 29002  | 適正に対応されていると判断致しました。 |    |

水産大学校

| 承認実験<br>番号 | 検証結果・アドバイス等  | 備 考       |
|------------|--|-----------|
| 17-1       | 鎮痛・麻酔にエーテルを使用する事は推奨されなくなっています。また、頸椎脱臼は麻酔下で実施する事が望ましいとされています。採血は用手保定で実施されたと思いますが、その点も記載してはいかがでしょうか。 |           |
| 17-2       | 採血は用手保定で実施されたと思いますが、その点も記載してはいかがでしょうか。鎮痛・麻酔・安楽死にエーテルを使用する事は推奨されなくなっています。                           |           |
| 17-3       | 採血は用手保定で実施されたと思いますが、その点も記載してはいかがでしょうか。鎮痛・麻酔及び安楽死にエーテルを使用する事は推奨されなくなっています。                          |           |
| 17-4       | 鎮痛・麻酔及び安楽死にエーテルを使用する事は推奨されなくなっています。  |           |
| 17-5       |  | 都合により実施せず |
| 17-6       |  | 都合により実施せず |
| 17-7       | 鎮痛・麻酔及び安楽死にエーテルを使用する事は推奨されなくなっています。  |           |
| 17-8       | 鎮痛・麻酔及び安楽死にエーテルを使用する事は推奨されなくなっています。  |           |
| 17-9       |  | 都合により実施せず |
| 17-10      |  | 都合により実施せず |